

2024 年 9 月 11 日

同朋大学大学院 人間学研究科 仏教人間学専攻
博士論文の評価基準について

人間学研究科 仏教人間学専攻

1. 博士の学位を受ける者は、「その専攻分野について研究者として独創的研究活動を行うに必要かつ高度な研究能力とその基礎となる幅広い豊かな学識を有する者」(同朋大学学位規程第 3 条)である。
博士論文は、これらの能力を修得したことを示すものでなければならない。
2. 博士論文は、以下の項目により総合的に評価するものとする。なお、この評価項目に定めるもののほか、各専攻において必要なものは当該専攻が定める。
 - (1) 課題設定の明確性
明確な問題意識に基づき、研究の目的、研究の意義や必要性が的確に述べられている。
 - (2) 先行研究・資料の取り扱いの適切性
当該分野の先行研究を十分踏まえた上で、研究を当該分野の研究動向の中に位置付けている。
特に国内外の先行研究を適切に検討、吟味していること。
 - (3) 研究方法の妥当性
研究目的に照らして、適切な研究方法と分析が用いられている。
 - (4) 論旨の明確性・一貫性
研究目的、研究方法、結果、考察の過程において論旨が明確でかつ論理の展開に整合性、一貫性、説得性がある。
 - (5) 構成・表現・表記法の適切性
学術論文として体系的に構成されており、適切な表現・表記法によって記述されている。
 - (6) 学術的・社会的貢献
学術的な独創性や重要性があり、国内外の学会や社会に対して貢献が認められているものである。
 - (7) 研究倫理の遵守等
学内の諸規程及び各専門分野の学会等で示されている研究倫理を遵守した論文である。また、執筆者自身の単著であるとともに、自律的・主体的に取り組んだ研究の成果である。

2024 年 9 月 11 日

博士論文にかかる研究及び論文作成のガイドライン

人間学研究科 仏教人間学専攻

博士論文にかかる研究及び論文作成においては、学内諸規程、及び当該専門分野の学会の研究倫理に関する規定及び学会誌執筆要領（論文執筆ガイド、引用法等）を参照するのを基本とする。その他の学会の規定・要領を参照する場合には、あらかじめ研究科委員会に諮るものとする。

<仏教文化分野>

- (1) 上代文学会
- (2) 中古文学会
- (3) 中世文学会
- (4) 日本印度学仏教学会
- (5) 日本近世文学会
- (6) 日本近代文学会
- (7) 日本語学会
- (8) 日本史研究会
- (9) 歴史学研究会

<人間福祉分野>

- (1) 日本社会福祉学会
- (2) 日本保育学会

<臨床心理分野>

- (1) 日本心理学会
- (2) 日本心理臨床学会